

「ニュース女子」放送への抗議声明

去る1月2日および9日、東京メトロポリタンテレビジョンが放送した「ニュース女子」が、報道の原則であるところの公正な取材を行わないまま、差別意識に満ちた虚偽の内容を放送し、沖縄に対する誤解と悪意を全国に拡散したことについて、ここに強く抗議する。

政府が強行する辺野古新基地、また高江集落を包囲するオスプレイ用ヘリパッド建設について、沖縄県民の大勢が反対していることは、知事選挙はじめ世論調査等で繰り返し示されており、沖縄の民意を受けた翁長県政が示してきた通りである。ところが、東京MX「ニュース女子」番組は、辺野古新基地建設反対、高江オスプレイ・ヘリパッド建設反対の沖縄の民意を歪曲し、必死で反対行動を行っている市民らが「日当」を貰って活動しているかのごとき悪質な報道をした。現場で抗議行動を行っている市民らは、自らの意思で無報酬で抗議活動をしているのであり、許しがたいデマというほかない。そのような疑惑が存在すると言うのならならば、市民に綿密に取材した上で公正な報道を行うべきである。「ニュース女子」は、市民を中傷する勢力にのみ一方的に偏って見解を述べさせ、「テロリスト」などと悪質なレッテルを貼り、当事者の声には一切耳を傾けなかった。中傷者の見解は、市民が救急車を止めた等、明らかな虚偽が多く、見過ごすことはできない。なお、高江や辺野古の新基地反対運動が、「日当」の「黒幕」と中傷された「のりこえねっと」の資金によって成り立っているかのごとき虚偽の報道は、必死に闘っている老若男女の大多数の県民に対する侮辱であり名誉毀損そのものである。

「ニュース女子」の放送は、無知・無理解にとどまらず、沖縄への根深い差別意識に基づいていることは明白である。そのことは、2016年10月に発生した機動隊員によるヘイトスピーチ、「土人」発言について、それを批判するどころか、逆に正当なものであるかのように出演者らが反応している点に、端的に示されている。

差別と虚偽が公共の電波で放送、拡散され、それが放置されることは、人権および放送法とジャーナリズムの倫理において許されるものではない。あってはならない。我々は、東京メトロポリタンテレビジョンに対し、厳重に抗議するとともに、次のことを要求する。

- 一、なぜ差別と虚偽に満ちた番組が放送されたか、同番組枠で検証し、訂正すること。
- 一、検証の結果と謝罪を、東京MXニュースで放送し、ホームページに載せること。
- 一、真に公正に沖縄を取材した一時間の番組を放送すること。

2017年1月27日

ヘイト放送に抗議する沖縄有志一同
(氏名・団体名は別紙)

平成 29 年 1 月 27 日

へイト放送に抗議する沖縄有志

(会見登壇者)

平和市民連絡会共同世話人・高里鈴代

池宮城紀夫 (弁護士)

目取真俊 (作家)

安慶名奈々

平和市民連絡会・岡本由希子

(賛同者氏名 着順)

牧志 治、桑江淳、高垣喜三、高垣縁、玻名城晋、饒波 修、山内末子、当山なつみ、北上田毅、水谷律子、山城 珠代、宮城康博、比嘉喜政、城間 盛松、泰真実、浅井大希、松田毅、鈴木 雅子、堀田ちえこ、仲村渠政彦、金井創、利根川千恵、知花優子、高野俊一、阿波根昌信、阿波根美奈子、上間芳子、宇山裕明、大城要、大城喜代一、大城寿代、大城ナエ、大城博子、大浜節子、大浜長伸、親盛節子、喜屋武杉子、久保礼子、崎浜シズ子、佐藤明美、島津八子、祖堅洋子、高良みづえ、玉栄さとみ、徳森セツ子、仲宗根須磨子、原田城二、原田みき子、比嘉美智子、松川成子、松堂僑子、山川ひとみ、島袋義久、平良啓子、金城祥一郎、金城勇、東武久、吉浜覚、金城初子、三上智恵、安里邦夫、桃原功、知念貞子、大城逸子、大城恵理、浦島悦子、渡瀬夏彦、松葉孝雄、城間 真弓、與那覇沙姫、宮川光世、大西章、坂尾美知子、間島孝彦、下地喜美江、山内榮、不屈館・内村千尋、長嶺智子、松井裕子、高嶺典子、相原更沙、赤嶺登美子、安慶名芳勝、安慶名克代、東悟、東智子、上原美智子、上原理央奈、宇良圭子、岡添晃、岡添克子、川満キヨ子、北山睦子、久田公子、佐久川美代子、佐久川美栄子、城間博子、新里健二、新里清子、徳尾典子、長嶺善勇、名城文子、前原幸子、前原信俊、前原信也、前原晴美、前原貴絵、宮里トミ、宮城安子、宮城勲、饒平名智子、饒平名弘美、饒平名艶子、渡邊章子、親川志奈子、宮城晴美、仁尾淳史、山内徳信、崎原盛秀、伊波義安、仲宗根勇、照屋寛之、平良真知、山城正和、当真嗣清、山城京子、照屋勝則、照屋房子、山城多喜子、真鍋誌苑、鴨下祐一、屋富祖昌子、西木昌孝、平山ふさえ、大西章、澤田利香

沖縄平和市民連絡会、 沖縄県マスコミ労働組合協議会、 沖縄平和ネットワーク、
沖縄のマスコミを支える会、 沖縄国際人権法研究会